

氏名	浅川 希洋志 (あさかわ きよし) 教授
こんな研究をしています	<ol style="list-style-type: none"> 1. 最適経験 (optimal experience) といわゆるフロー経験 (flow experience) と精神的健康・psychological well-being の関係について。 2. 教育プロセスにおけるフロー経験と最適発達の関係について。 3. 異なる文化で育った人々はフローを同じように経験するのだろうか。 4. 生理学的指標でフロー経験をどう測定するか、できるのか。
こんな成果を挙げています	<ol style="list-style-type: none"> 1. “Flow experience, culture, and well-being: How do autotelic Japanese college students feel, behave, and think in their daily lives?” (<i>Journal of Happiness Studies</i>, 11, 2010). 2. 「楽しさと最適経験の現象学—フロー理論—」鹿毛雅治編『モチベーションをまなぶ12の理論』金剛出版 (2012年)。 3. “Universal and cultural dimensions of optimal experiences.” (共著: with M. Csikszentmihalyi) (<i>Japanese Psychological Research</i>, 58, 2016). 4. (監訳) チクセントミハイ著『クリエイティビティー—フロー体験と創造性の心理学』世界思想社 (2016年)。 5. 「持続的な幸福 (マーティン・セリグマン) —ポジティブ心理学と感情—」『臨床心理学』第20巻第3号, 金剛出版 (2020年)。 6. 「ESM 質問票に基づくフロー心理状態の分類」(共著)『生体医工学』第59巻 (2021年)。 7. 「フロー経験と起業マインド—3日間の Startup Weekend は起業マインドを高めるか—」(共著)『VENTURE REVIEW』第38巻 (2021年)。
ほかに、こんなジャンルに関心をもっています	文化と心の働きに関する研究。例えば、異なる文化で育った人々は、同じ場面で同じような心の働き方や経験をするだろうか。また、学校教育は文化の担い手としての子どもたちにどのようなことを期待し、教育プロセスの中で、子どもたちはどのような心の働き方を身につけていくのか。
こんな授業を行なっています	「異文化社会論 IIA/B」: 文化心理学の立場から心の働きと文化の関連について学ぶとともに、異文化社会/多文化社会における適応とはどういうことかを考えていきます。また、受講者が自分自身の異文化体験に対する考察を深めていくための一助となるような授業になればと考えています。
学会や社会でこんな活動をしています	<p>所属学会 : 日本心理学会、American Psychological Association、International Positive Psychology Association、European Network for Positive Psychology。</p> <p>フロー理論への関心の高まりから、教育、産業、ビジネスといった分野での講演の機会が増えています。小・中学校の教育研究のサポート、企業内メンタルヘルス・モニタリング・システムの構築、フロー理論を用いた起業家教育プログラムの検証、「ワーケーション」の効果と可能性の検証、フロー経験と心拍数との間にどのような関係があるのかを明らかにする取り組みなど、様々な活動、研究に携わっています。</p>
研究分野の基礎文献を紹介します	<p>浅川希洋志 (2012) 「楽しさと最適経験の現象学—フロー理論—」鹿毛雅治編『モチベーションをまなぶ12の理論』金剛出版。</p> <p>Csikszentmihalyi, M. (1990) <i>Flow: The Psychology of Optimal Experience</i>. New York: Harper & Row. (今村浩明 (訳) 1996『フロー体験—喜びの現象学』世界思想社。)</p> <p>Csikszentmihalyi, M. & Asakawa, K. (2016) Universal and cultural dimensions of optimal experiences. <i>Japanese Psychological Research</i>, 58, 4-13.</p> <p>Seligman, M. E. P. & Csikszentmihalyi, M. (2000) Positive psychology: An introduction. <i>American Psychologist</i>, 55 (1), 5-14.</p>